



平成24年7月31日

各位

上場会社名 NSユナイテッド海運株式会社
 代表者 代表取締役社長 小島 徹
 (コード番号 9110)
 問合せ先責任者 企画グループリーダー 小山田 充宏
 (TEL 03-6895-6411)

業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年4月27日に公表した業績予想ならびに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	70,000	△700	△1,400	△200	△0.87
今回修正予想(B)	65,000	△600	△1,700	△1,500	△6.50
増減額(B-A)	△5,000	100	△300	△1,300	
増減率(%)	△7.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	66,688	499	△1,217	△415	△1.80

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	143,000	1,200	500	1,300	5.64
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	135,044	1,627	496	△914	△3.96

修正の理由

第2四半期連結会計期間につきましては、足元の低市況を受けた老齢船解撤・係船等の動きによって船腹需給の改善が期待されるものの、新造船竣工による供給圧力は根強く、市況低迷が引き続き強く懸念されます。さらに、長引く為替の円高基調や燃料油価格の急激な上下など損益変動要因も依然残っており、今後も厳しい事業環境が続くものと見込まれます。

第1四半期連結累計期間において保有有価証券の時価下落に伴う投資有価証券評価損を計上したことに加え、前述の事業環境の見直しを織り込み、本年4月27日付けで公表した平成25年3月期第2四半期連結累計期間及び平成25年3月期通期の連結業績予想を上述の通り修正いたします。なお第2四半期の前提条件につきましては、対ドル円換算率を79円(期初前提比1円高)、燃料油価格を内地C重油価格トン当たり650ドル(期初前提比70ドル安)へと見直しています。

足元では、海運市況は反発の機会を窺う局面にありますが、欧州財政危機等を発端とする世界経済の低迷が引き続き懸念され、さらに中東の政情不安により原油市場の先行きも不透明なことから、市況回復の時期を予測することは非常に困難な状況にあります。そのため通期の連結業績予想につきましては未定といたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年4月27日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成24年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注1) 上述の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当額は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

(注2) 当社は定款において第2四半期末および期末日を配当基準日と定めています。

修正の理由

当社では年間配当性向を「連結業績ベースの概ね20%」としており、また中間配当額につきましては上期業績の推移ならびに下期業績見込の見直し等を考慮して判断することとしています。

しかしながら上述の「業績予想の修正について」にて説明の通り、第2四半期連結累計期間の業績は赤字が見込まれており、また今後の事業環境見通しが非常に不透明であるゆえ通期連結業績予想数値の公表を見送らざるを得ない状況にあることから、第2四半期末につきましては無配とするとともに、期末配当につきましては前回予想と同じく未定といたします。

以上